

令和元年度第4回沖縄県がん診療連携協議会緩和ケア・在宅医療部会議事要旨

日 時：令和2年3月18日（水）16：50～18：20

場 所：琉球大学医学部附属病院3階がんセンター

出席者：10名（内スカイプ参加3名）

笹良剛史（南部病院）、中島信久（琉大病院）、友利あかね（琉大病院）、
足立源樹（那覇市立病院）、三浦耕子（中部病院）、屋良尚美（中部病院）、
増田昌人（琉大病院）

スカイプ：野里栄治（北部地区医師会病院）、朝川恵利（宮古病院）、
大上永利子（八重山病院）

欠席者：3名 中村清哉（琉大病院）、伊波義之（沖縄県健康長寿課）、
名嘉真久美（沖縄県がん患者会連合会）

陪席者：1名 山田綾美（琉大病院）

報告事項

1. 令和元年度第3回沖縄県がん診療連携協議会緩和ケア・在宅医療部会議事要旨
資料1に基づき、令和元年度第3回沖縄県がん診療連携協議会緩和ケア・在宅医療部
会議事要旨が承認された。
2. 令和元年度緩和ケア・在宅医療部会、在宅ワーキング、研修ワーキング委員名簿
資料2に基づき、増田委員より部会・各ワーキング委員の確認があった。
3. 令和元年度緩和ケア研修会日程
資料3に基づき、増田委員より令和元年度緩和ケア研修会日程の確認があった。
4. 沖縄県緩和ケア研修会の報告
 - ①ハートライフ病院（第8回）
資料4に基づき、増田委員より第8回緩和ケア研修会について報告があった。
 - ②浦添総合病院（第9回）
報告書の提出が遅れているため、次回報告することとなった。
 - ③県立宮古病院（第10回）
資料6に基づき、朝川委員より第10回緩和ケア研修会について報告があった。参加
者は11名（医師6名、看護師5名）、県立中部病院よりファシリテーター3名の派遣が
あり、スムーズに開催することができたとのことだった。

5. 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会（E-FIELD）について

資料 7 に基づき、増田委員より患者の意向を尊重した意思決定のための研修会（E-FIELD）について報告があった。県外より 3 名の講師を招いて開催し、86 名（23 チーム）の参加があった。また、南部病院にて木澤先生によるアドバンスケアプランニングの講演会が開催されたと報告があった。

6. 緩和ケア普及啓発ツールセットの活用について

資料 8 に基づき、増田委員より緩和ケア普及啓発ツールセットの活用について報告があった。講演会や研修会にて活用するよう周知があった。

協議事項

1. 痛みのスクリーニングと結果のフィードバック及び主治医（チーム）の行動変容

①琉球大学医学部附属病院

資料 9 に基づき、友利委員より報告があった。各病棟で差はあるが、平均除痛率は 60%となっており、痛みのフローシートを作成し、アセスメント方法の統一を図り看護介入の強化を図っている。次年度より、外来カンファレンスを強化し看護介入のスクリーニングを実施していきたいと報告があった。

②那覇市立病院

資料 10 に基づき、足立委員より報告があった。11 月～2 月、緩和ケアリンクナースが病棟にて疼痛スクリーニングの勉強会を実施したことで除痛率が上昇した。課題として、レスキューの頻回使用、主治医へのフィードバックが難渋しているとのことだった。

③県立中部病院

資料 11 に基づき、屋良委員より報告があった。がん告知された患者全てにスクリーニングを実施していたが、担当看護師が必要と判断した患者へ実施するようになっており、件数の減少傾向がある。毎日聞くと嫌な顔をされる、がん告知がどのようにされたか不明確なため踏み込んだ質問ができない、看護師からの緩和ケアチーム依頼が少ない等、課題として挙げられている。スクリーニングの結果からケアを繋げられるようリンクナース・緩和ケアチームとの強化を図っていきたいとのことだった。

中島委員より、各施設のスクリーニング対象の土台が異なることもありアウトカムが出せていないが、ツールの活用を継続していくためにも、3 病院が実施していることの評価が必要でないかと意見があった。スクリーニング実施後のフィードバック方法について引き続き検討することとなった。

2. 拠点病院における PDCA サイクル体制強化について

資料 13 に基づき、増田委員より他県の取り組みについて報告があった。拠点病院間で相互訪問しピアレビューを実施することが次年度以降に義務付けられる可能性があるが、沖縄県では義務されたら実施することとなった。

3. 日本緩和医療学会 第 3 回九州支部学術大会（沖縄県）について

資料 14 に基づき、笹良委員より今年開催予定の緩和医療学会九州支部学術大会について報告があった。沖縄県看護研究センターと小児保健センターを会場として企画中で、大会長は笹良委員、事務局長は増田委員となっている。3 月 24 日に実行委員会を開催する予定とのことだった。今後、部会委員へも協力依頼をしたいとのことだった。

4. 次回、令和 2 年度第 1 回緩和ケア・在宅医療部会開催日程について

開催時間の見直しについて協議が行われ、次回は 14 時、15 時、16 時で日程調整することとなった。部会長・副部会長の 3 名の日程を合わせ、メーリングにて各委員へ出席確認し、定刻通り開始できるよう協力依頼があった。